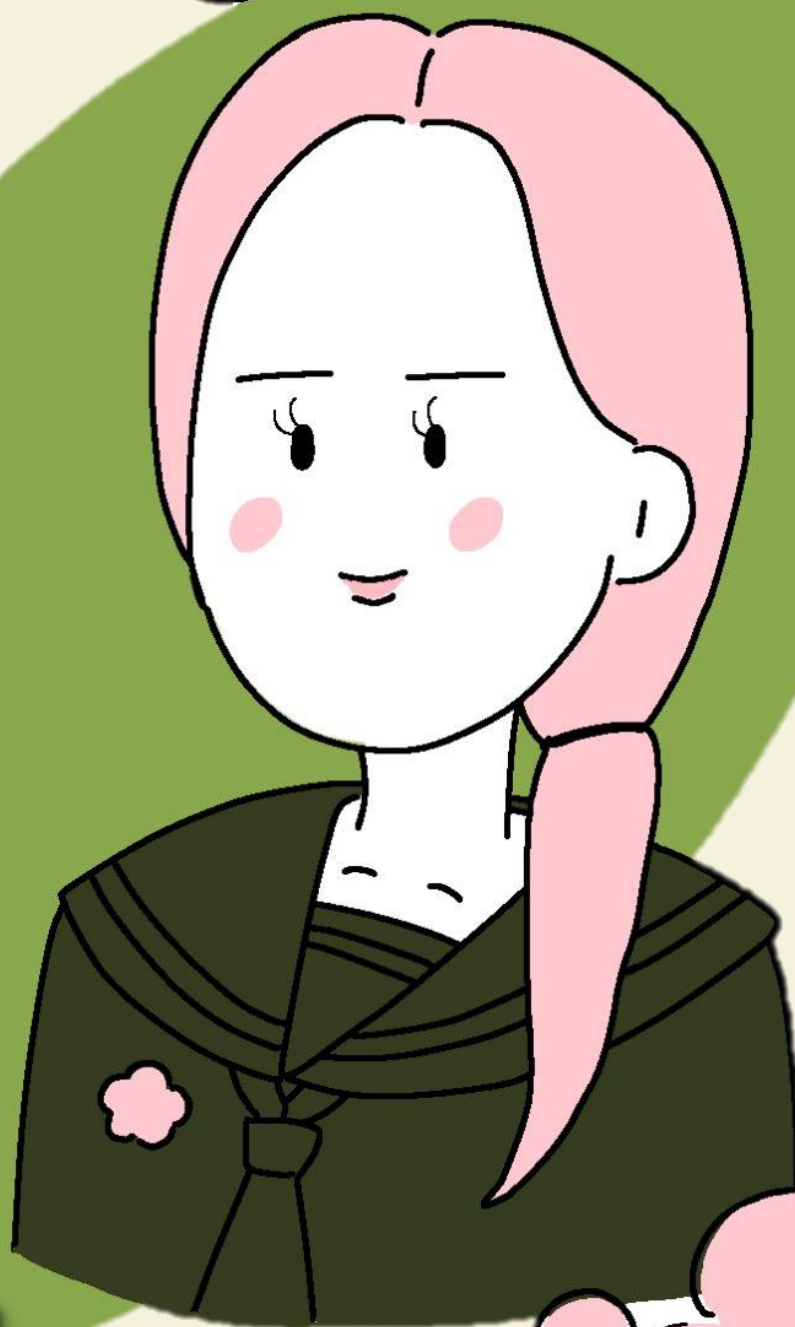


月刊 ふし



Neue Straße



3月号



《今月の表紙》

「Neue Straße」

高校1年 本間 未莉 さん

今号の内容

【特集】

美術「高1 仮想！ 100周年記念彫刻」

美術「中3 季節を表す型染め ～春・夏編～」

【連載】

67 回生 齊藤百恵「アイルランド留学記」

「高1 仮想！100周年記念彫刻」

「創立100周年を記念した、

学校を象徴する彫刻を、生徒玄関
前の広場に設置する」というテー
マで立体を制作しました。実際に
作ったのはスタイロフォームを
加工したミニチュアですが、その
写真を校舎の写真に合成し、仮想
イメージ図にしてみました。楽し
んでご覧ください！



材料のスタイロフォームと作品群
(大きさは高さ 15 センチ程度)

作品には塗装を施し、作品のスケッチと説明を記載したコンセプトシートも制作しました。



『memories』
S さんの作品



『少女たる者』
Kさんの作品



『星が降った』
M さんの作品



『協和』
S さんの作品



『しるし』
Aさんの作品



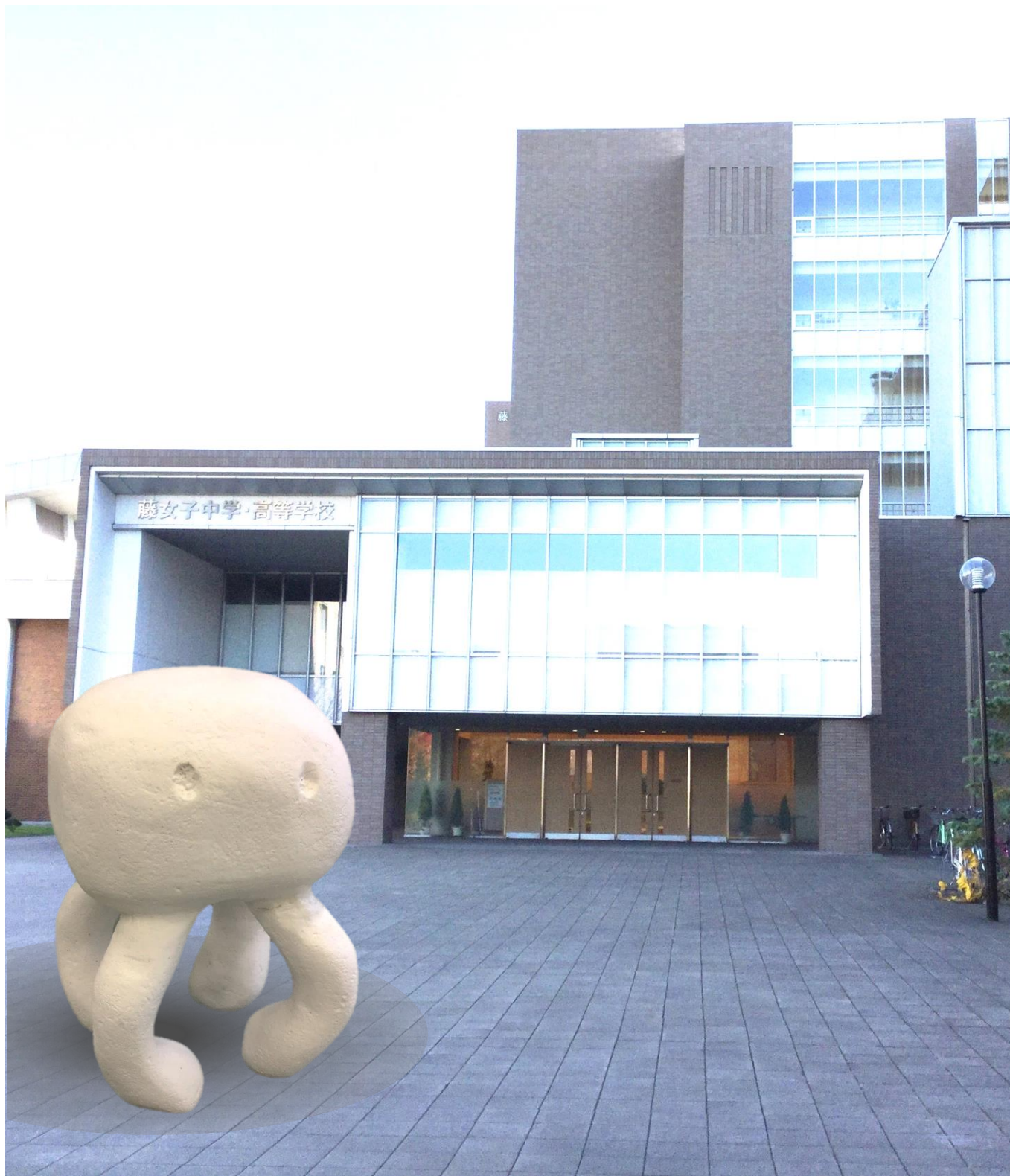
『窠立ち』
Yさんの作品



『白いオブジェ』
H さんの作品



『禁断の木の実』
S さんの作品



『癒しのくらげ』
M さんの作品



『ふしぎ』
Iさんの作品



『ツボミ』
A さんの作品



『他を愛す』
Kさんの作品



『キリストの受難』

Kさんの作品

「中3 季節を表す型染め

〔春・夏編〕

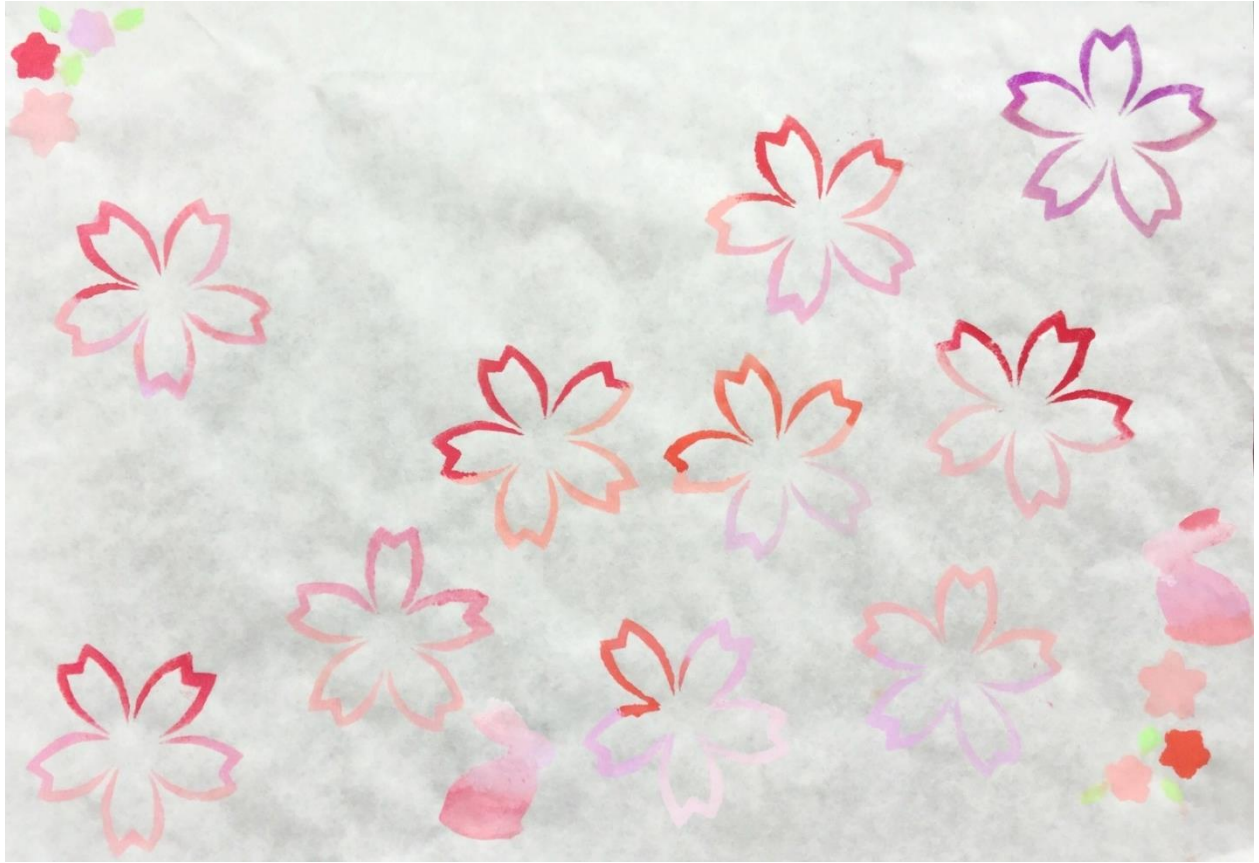
オリジナルの模様を考え、型染め（ステンシル）の技法で和紙やクラフト紙を染めました。

同じ形を連続させられるところが型染めの魅力であり、面白さです。型の配置を密集させたり、離したり、上下を変えたり、重ねて違う色を染めたり……。

今回は、季節を先取りして、春と夏作品介绍をご紹介します。



作品とその型紙



Kさんの作品「桜とうさぎ」



Tさんの作品「チューリップ」



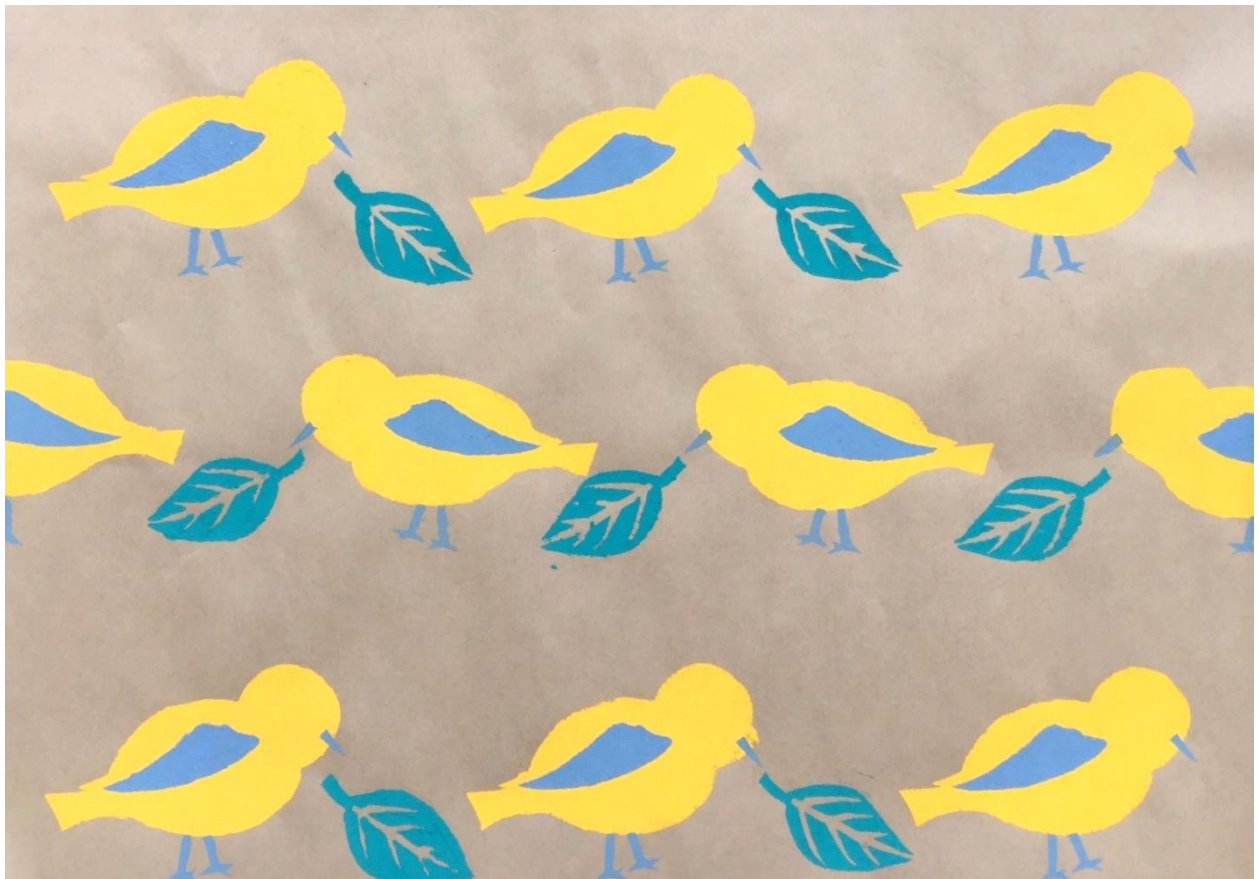
Ｔさんの作品「赤い花」



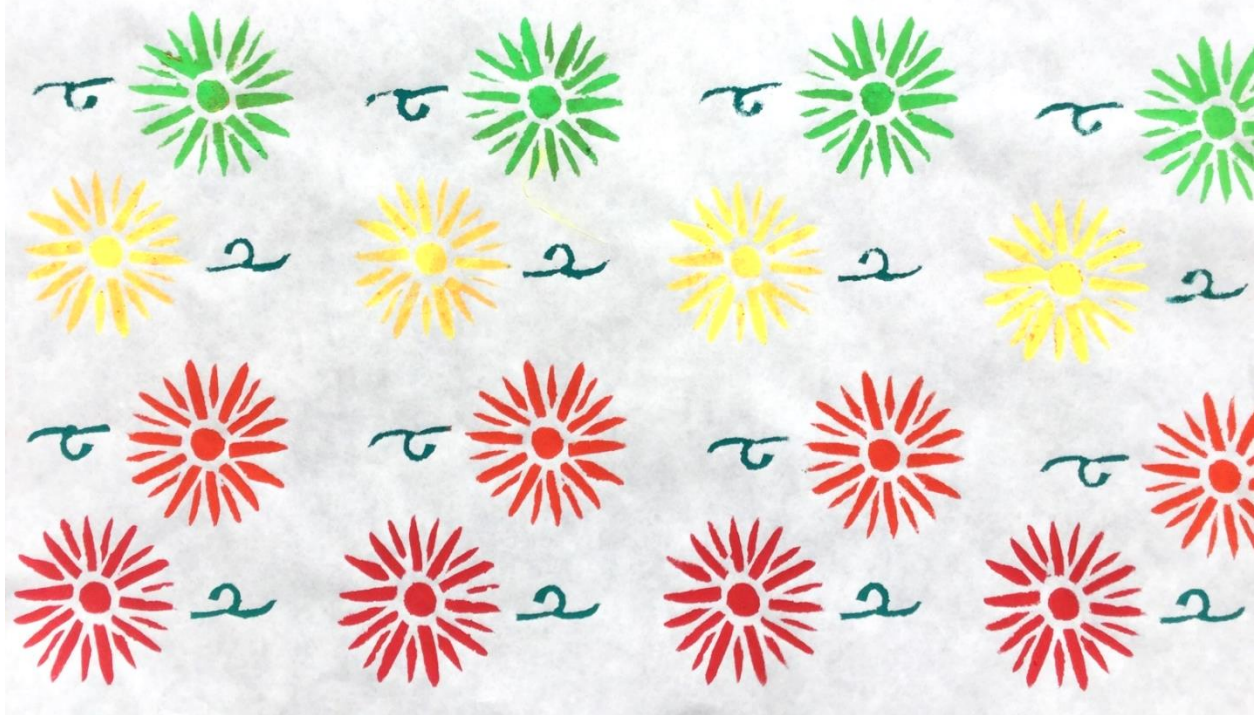
Ｉさんの作品「バッタ」



Iさんの作品「舞う桜」



Yさんの作品「とりとん」



Yさんの作品「春の道端を飾るカラフルな花」



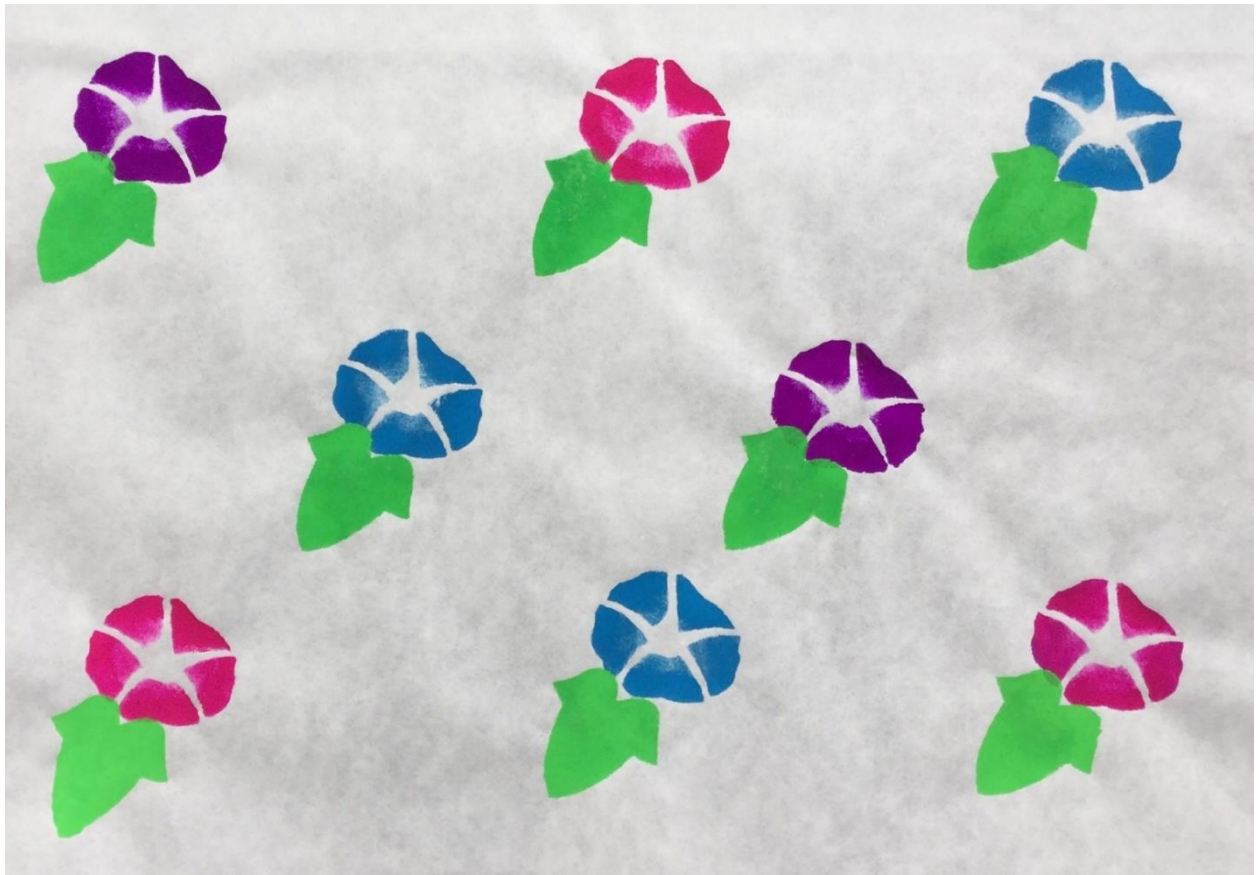
Nさんの作品「カエルたち」



Nさんの作品「いちご」



Kさんの作品「梅雨」



Iさんの作品「あさがお」



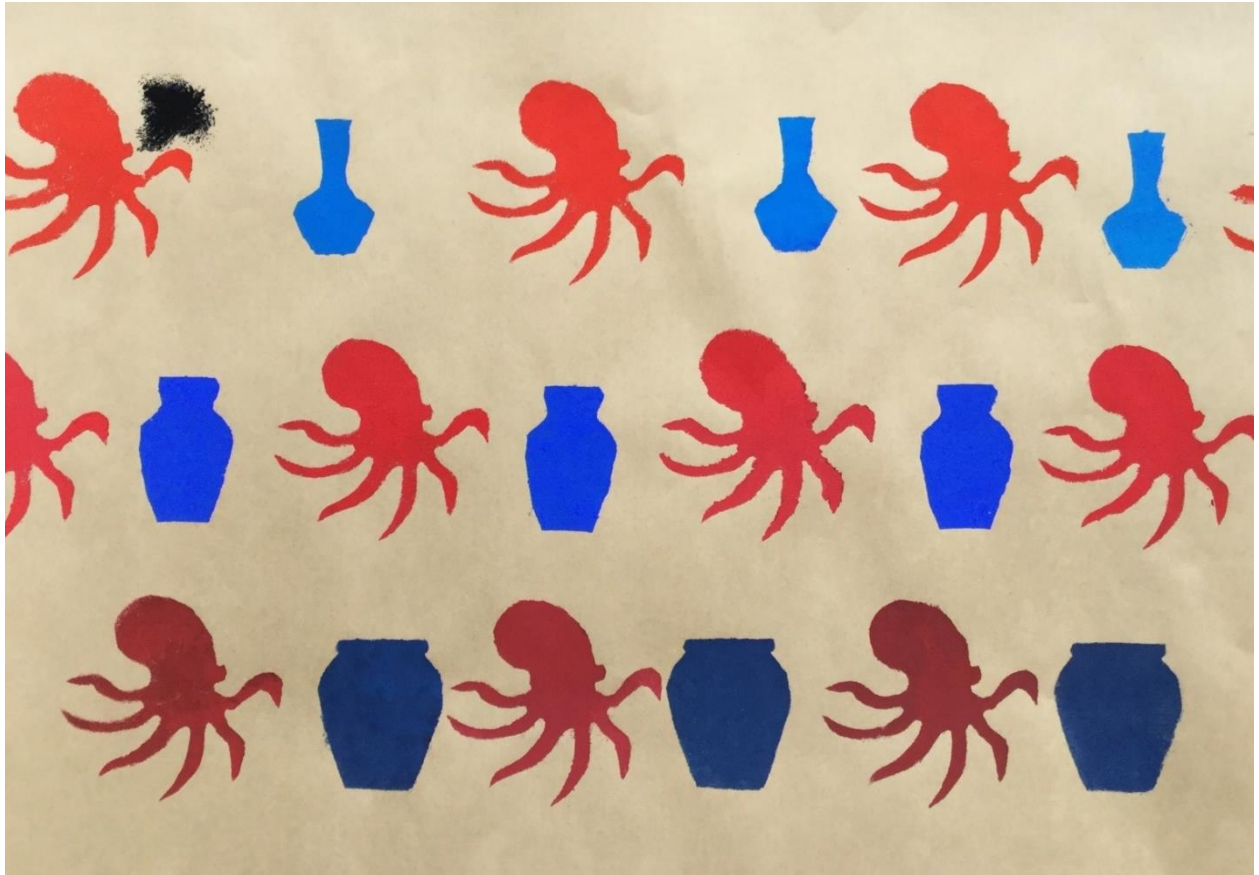
Kさんの作品「すいか紋」



Hさんの作品「金魚」



Oさんの作品「かき氷たち」



Ｙさんの作品「たこつぼ」



Ｋさんの作品「真夏」



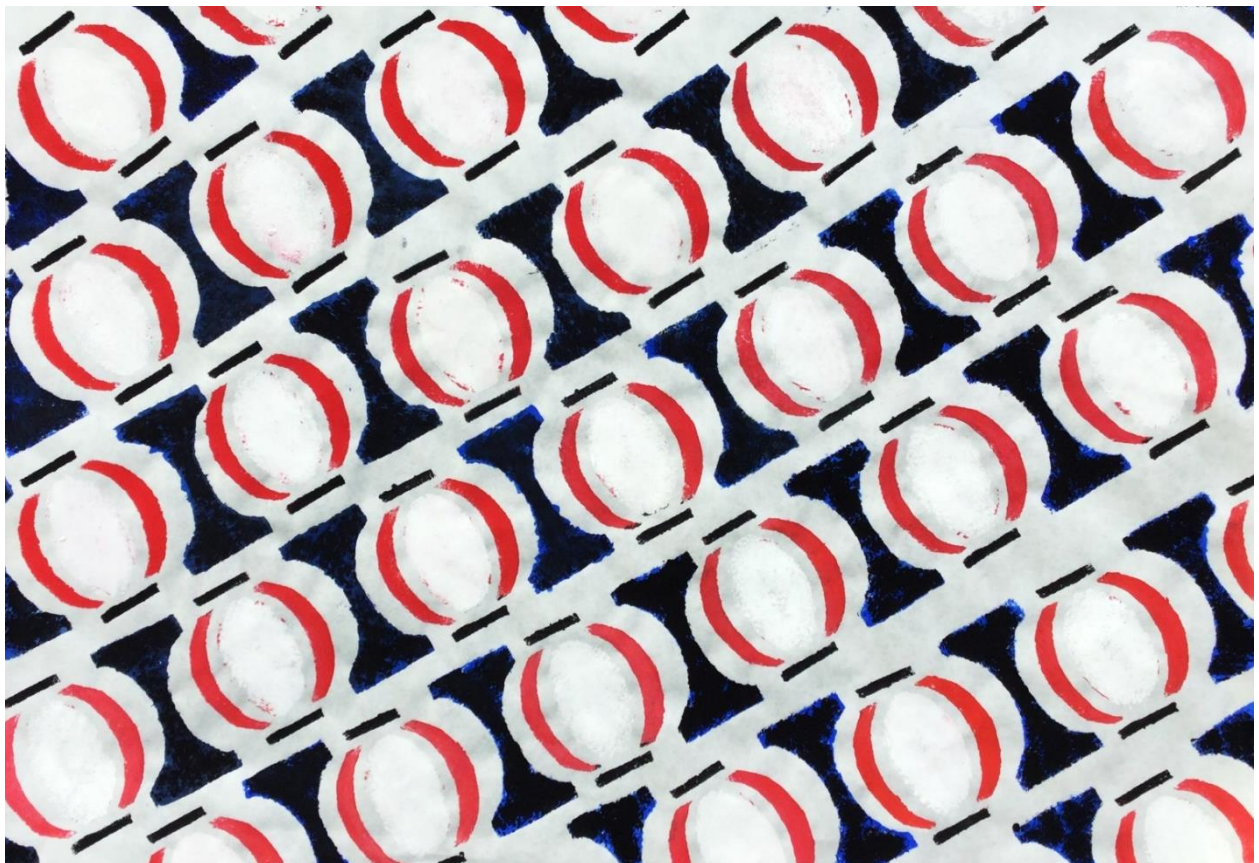
Nさんの作品「巻貝と人手」



Hさんの作品「金魚」



Tさんの作品「桃」



Tさんの作品「おまつり」

「アイルランド留学記」

上智大学文学部新聞学科に在籍しながら交換留学生としてアイルランドのダブリンにある Dublin City University に通う、67回生の齊藤百恵さんの連載第5弾です。

すし酢、白だし、油揚げ。麦茶にカレーのルーまで！ここは本当にアイルランドのお店？今号は、ダブリンで感じる日本についてのお話です。

みなさん、こんにちは。連日コロナウイルスに関するニュースを耳にしておりますがいかがお過ごしでしょうか。北海道は感染者が特に多いとのこととても心配です。どうぞ体調には気をつけてくださいね。

今日は「ダブリンの中の日本」についてお話します。ここ、アイルランド ダブリンは、近年ワーキングホリデーや語学留学などで日本でも人気が出始めているものの、やはりまだまだ馴染みのない国のひとつです。特に観光目的で訪れる人はほとんどいません。私もここに住んで半年経ちますが、未だ一度も日本からの観光客に出会ったことがありません。



しかしながら、ダブリンで日本を感じる機会というのは意外に多いものです。街中には日本食を提供する飲食店も多くあります。名前も“YAMAMORI IZAKAYA”や“KOKORO SUSHI”など、日本語を使用しているので分かりやすいですね。

これらのレストランはわりと人気があるようですが、やはり他の飲食店と比較すると値段が高いようです。ただ、日本食と言っておきながら他のアジアの国の料理とごっちゃまぜになったようなものも多いので注意が必要です（笑）



このようなレストラン以外にもアジアンマーケットがいくつかダブリンにはあり、そこでは日本と全く同じような品物が手に入ります。写真はおそらくダブリンで最も大きいアジアンマーケットなのですが、調味料からお菓子からインスタント麺まで、日本さながらの品揃えです。留学しているとよく「日本食恋しいでしょう？」と聞かれますが、自炊している分にはこれらの食材を使えるので正直そんなに困っていません。

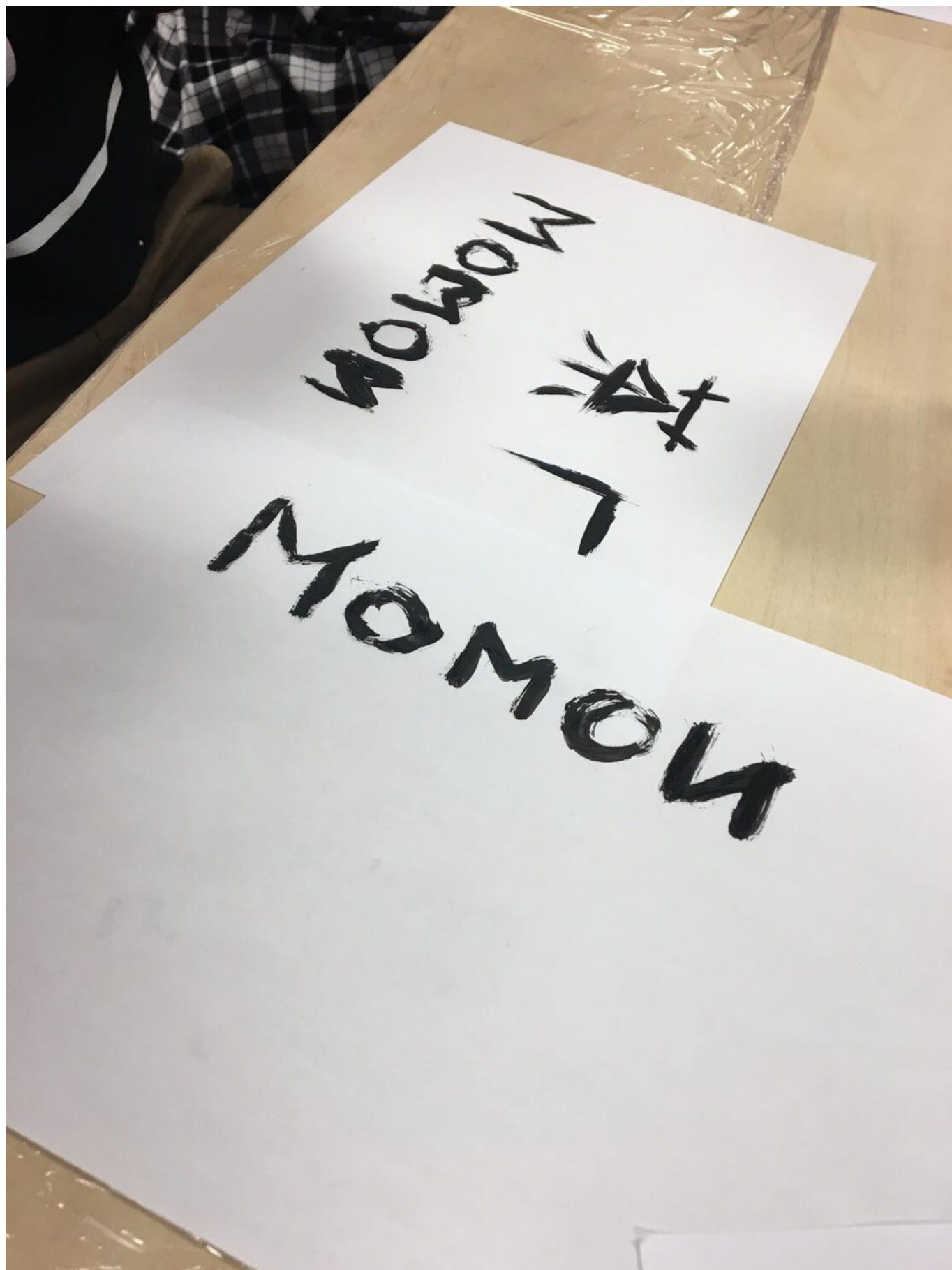
（ただ美味しいお米は売っていないのでそれだけは恋しい…）



また、私が通う DCU には JAPANESE SOCIETY という日本語サークルがあります。このサークルには DCU で日本語を勉強する学生が所属しており、毎週木曜日の夜に集まって書道体験やキャラ弁を作るなど、様々なアクティビティをしています。(写真は先日、みんなでカラオケに行った時のものです。)



このサークルに所属する学生はみんな日本語が本当に上手で驚かされます。たまに私が英語で話しかけ、それに対する返事は日本語…といったようなことも起こります。中には今年の秋から日本の大学（私の通う上智大学にも！）に留学しに来る人もいて、帰国してからもまた彼らと日本で会えるのが楽しみです。



以上、ダブリンで感じる日本について今月はお話させていただきました。これで少しでもアイルランドが身近に感じてもらえると嬉しいです。また来月もお楽しみに！